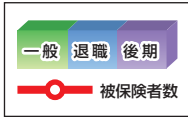
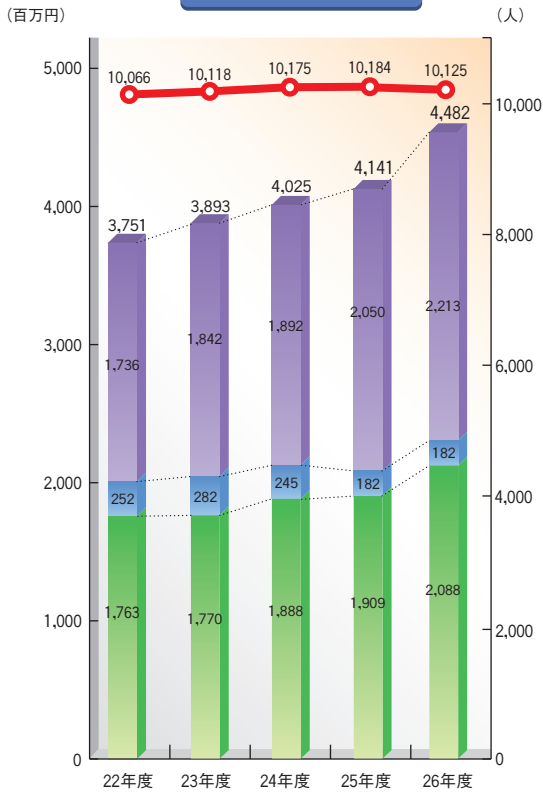


野 木 町

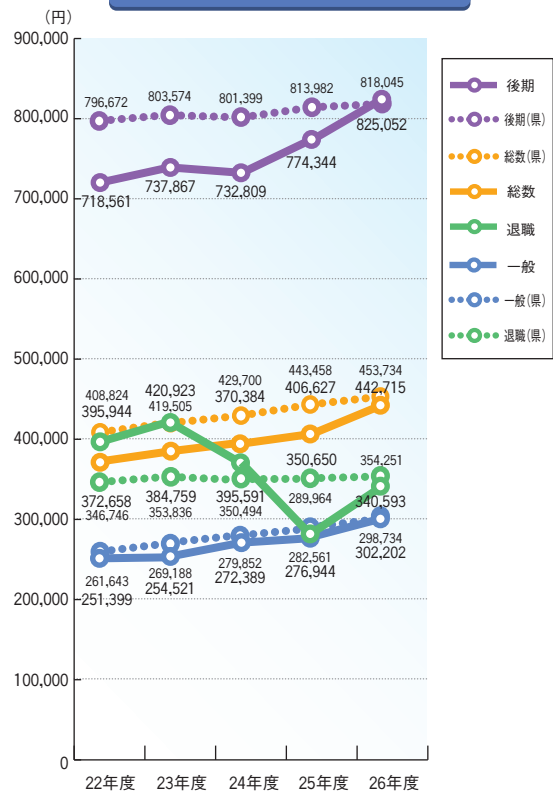
野木町



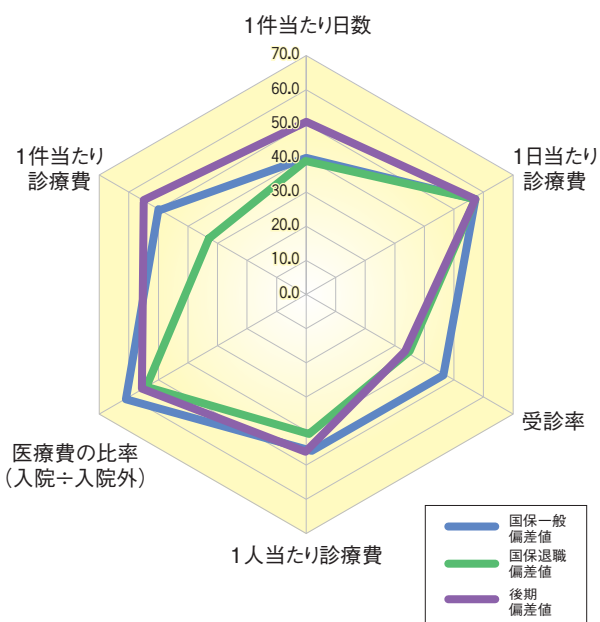
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

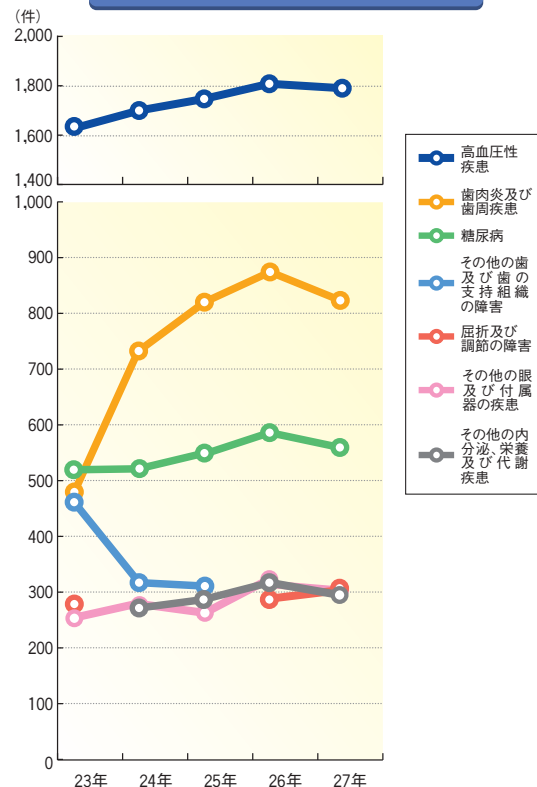


平成26年度 3要素と医療費諸費(県平均との比較)

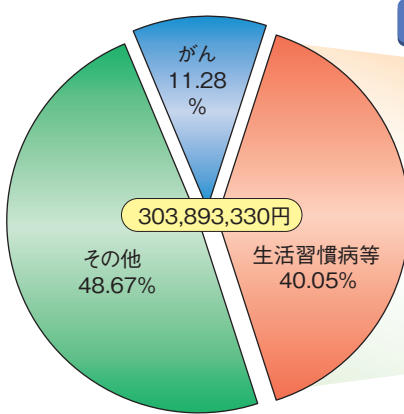
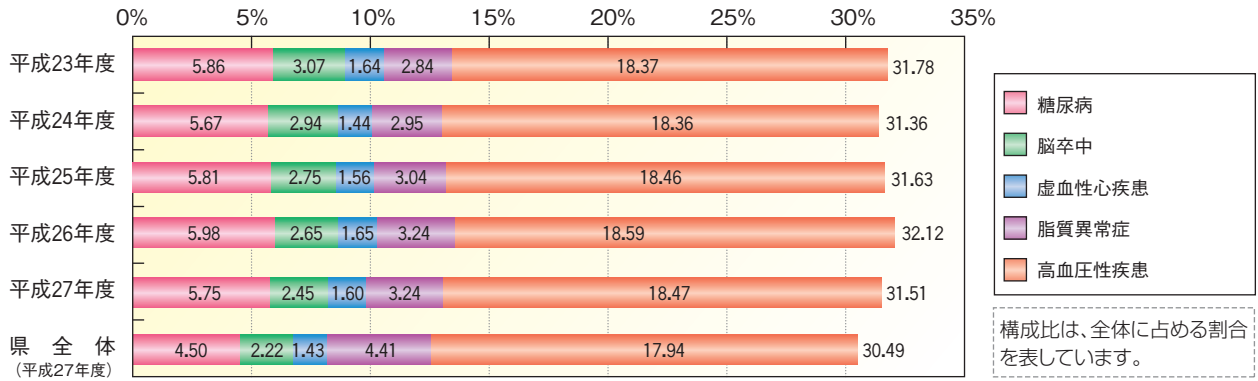


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

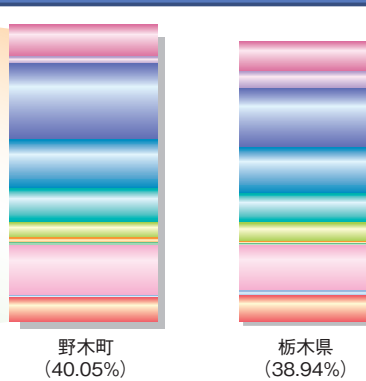
多受診疾病上位6位の推移



生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)

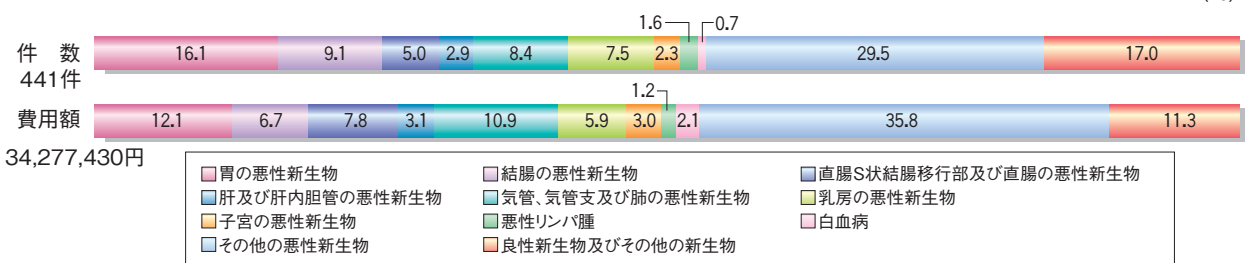


生活習慣病が占める費用額の割合



	野木町	栃木県
糖尿病	4.35%	4.14%
脂質異常症	0.97%	2.37%
高血圧性疾患	10.28%	8.25%
虚血性心疾患等	6.48%	6.35%
脳梗塞	4.62%	4.14%
その他の脳疾患	2.12%	2.58%
動脈硬化	0.60%	0.27%
肝疾患	0.33%	0.31%
腎不全	6.79%	6.29%
骨粗鬆症等	0.35%	0.65%
歯肉炎及び歯周疾患	3.18%	3.58%

がんの件数・費用額割合(部位別)



野木町の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成26年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般2,087,609千円(109.4%)、退職182,217千円(100.3%)、後期2,212,513千円(107.9%)で、全体では4,482,340千円(108.2%)と増加している。()は前年度との比較。

平成26年度平均被保険者数は10,125人で、内訳は一般6,908人、退職535人、後期2,682人である。前年度比較すると全体で99.4%と減少している。

また、平成26年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は442,715円(36,088円増)、一般は302,202円(25,258円増)、退職は340,593円(58,032円増)、後期は825,052円(50,708円増)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、一般及び退職は1日当たり診療費と医療費比率において県平均を上回る偏差値となっており、後期は受診率、1人当たりの診療費以外が県平均を上回る偏差値となっている。

★疾病の状況

平成27年5月診療分の件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位糖尿病、4位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、5位屈折及び調節の障害、6位その他の眼及び付属器の疾患で、中でも、5位の屈折及び調節の障害の費用額は急激に増加し、平成23年に比べ費用額は2.26倍となっている。

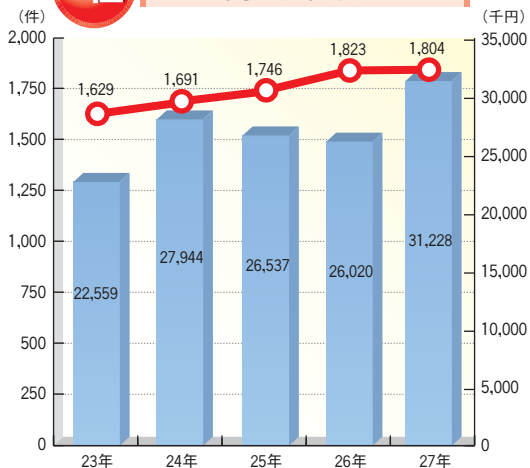
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ5疾病全体の構成比は高く、中でも糖尿病は県全体に比べ特に高い構成比になっている。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成27年5月診療分の総費用額が303,893,330円で、がんが11.28%、生活習慣病関連が40.05%を占めている(県全体 がん11.90%、生活習慣病関連38.94%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患10.28%、腎不全6.79%、虚血性心疾患等6.48%となっている。

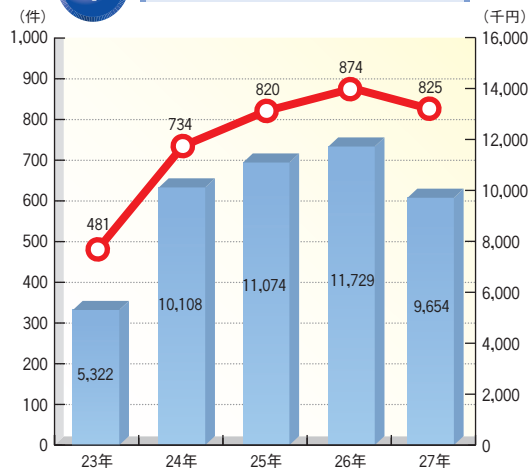
がんの部位別の件数及び費用額の割合は、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数は胃の悪性新生物、費用額では胃の悪性新生物、気管・気管支及び肺の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6 の年次推移

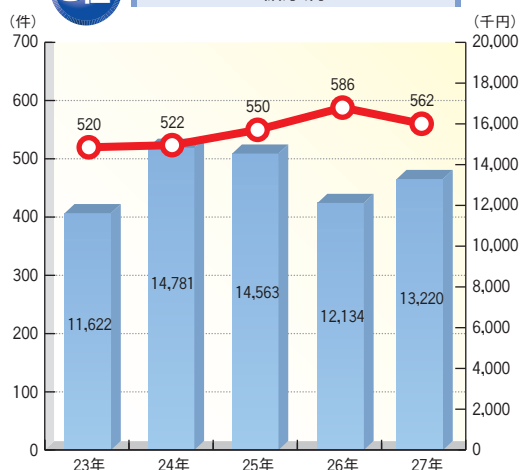
1位 高血圧性疾患



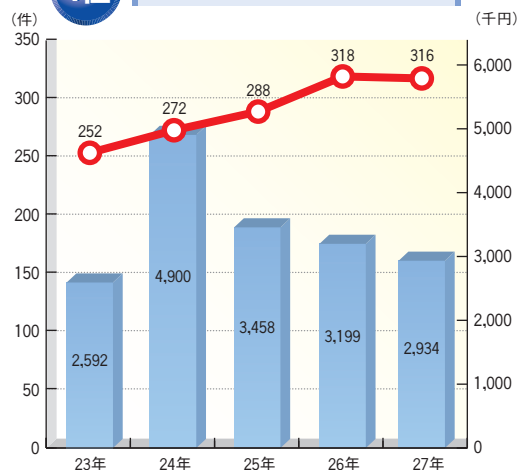
2位 歯肉炎及び歯周疾患



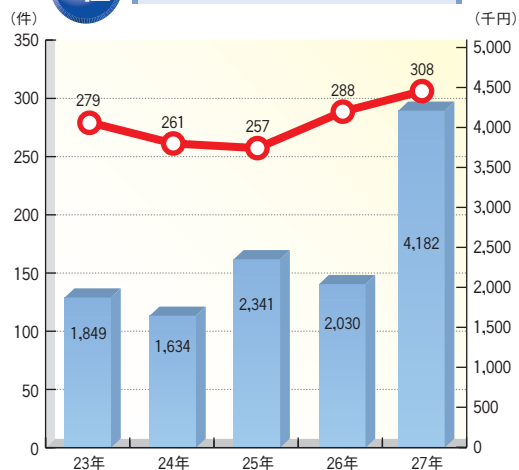
3位 糖尿病



4位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



5位 屈折及び調節の障害



6位 その他の眼及び付属器の疾患

